

シチズングループの中期経営計画と事業基盤

真のグローバル企業を目指す

「シチズングローバルプラン 2018」後半のステップへ

シチズングループは、世界で勝ち抜くグローバル企業になることを目指し、2013年にシチズングローバルプランとして初めてとなる6カ年での中期経営計画「シチズングローバルプラン 2018」を開始しました。「シチズングローバルプラン 2018」では、時計事業、および時計製造で培われた強みを生かせる領域にフォーカスし、カテゴリトップクラスのグローバル競争力を持つ事

業の集合体、および高収益体質になることを目指し、製造革新を進め、収益力強化を図ることに注力しました。前半3カ年では、徹底した構造改革と体質強化を行い、事業の選択と集中に取り組みましたが、外部環境の変化等により未達だった点もありました。後半3カ年では、引き続き製造力の強化を推し進め、更なる体質強化に取り組みます。

「シチズングローバルプラン 2018」重点課題、および取り組み内容

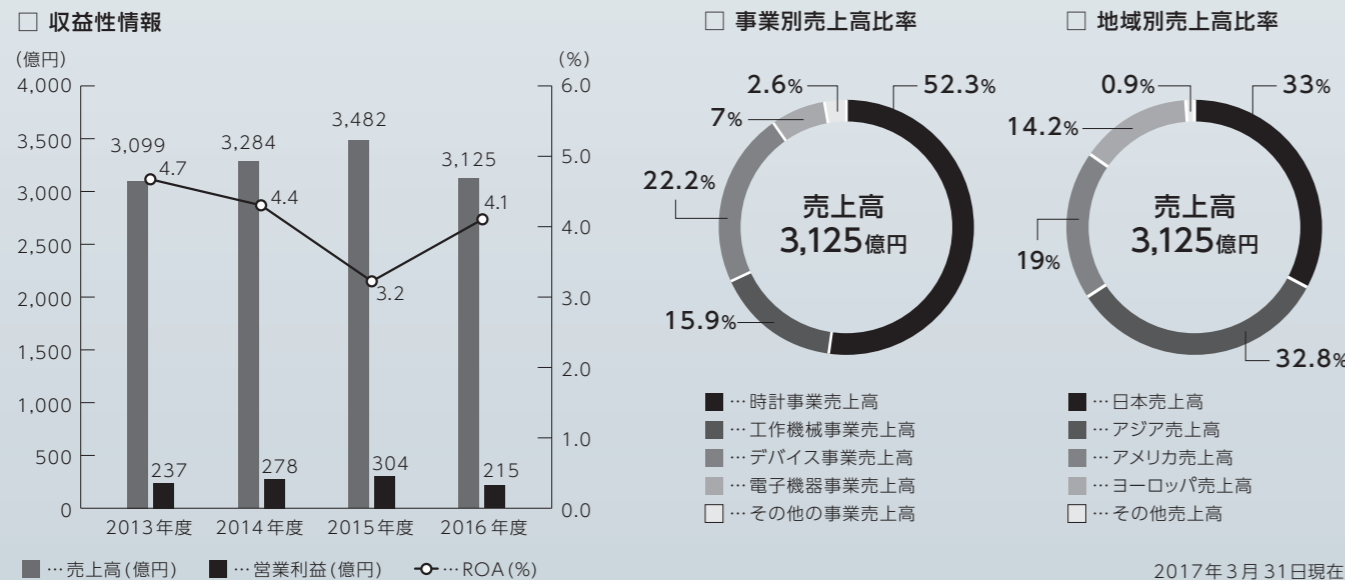
2016年～2018年重点課題	取り組み内容
徹底した体質強化 / 製造力の強化	製造革新による原価低減や資産効率の向上を目指し、収益力を高める取り組みを強化
事業成長に向けた積極的投資とマーケティング力の強化	中期経営計画前期3カ年で生み出した原資をもとにした、成長に向けた積極投資
製品・事業の選択と集中	グループ各社が展開する事業や製品の選択と集中の推進、および注力する事業・製品を明確化
人の生産性改善と人材力強化	グローバル環境の中であらゆる変化に対応できる人材の育成と、精鋭化集団としての組織力の強化

シチズングループの財務実績

2016年度は、円高や世界的な市況低迷の影響を受け、売上高、および営業利益は減収減益と厳しい結果になり、営業利益は215億円にとどまりました。一方、資産の効率化を進めた結果、固定資産売却益、および投資有価

証券売却益を計上したことなどにより、税負担率が下がり親会社株主に帰属する当期純利益は165億円となり、ROAは4.1%に改善しました。

※財務実績の詳細は、WEBサイトをご覧ください。(http://www.citizen.co.jp/ir/financial/index.html)



シチズングループの価値を生み出す事業基盤

シチズングループでは、創業以来、時計事業を通じて培ってきた、製品をより小さく精密にする技術や、消費電力の少ない製品づくり等、シチズングループならではの高い技術を活用し、他のコア事業においても新たな価値を提供しています。

※事業の詳細は、WEBサイトをご覧ください。(http://www.citizen.co.jp/business/index.html)



時計事業

世界中で愛される時計づくりを目指してきたシチズングループにとって、時計はものづくりの原点です。現在も多くの方々から支持される光発電技術「エコ・ドライブ」など、世界初の革新的な製品をはじめとし、新たな機能を備えたモデルも生み出し続けています。



工作機械事業

医療や自動車、ITなど幅広い業界で必要不可欠な部品をつくる工作機械は、今日の技術の進歩や社会の発展を支えています。変化の時代において多様化するニーズに応える細やかな技術が、社会の様々な場面でのものづくりを支えています。



デバイス事業

LED照明や、スマートフォンのスイッチ、液晶などの身近な電子機器等に組み込まれる部品であるデバイスの製造には、時計事業で培ったシチズンならではの精密技術が生かされています。製品の低消費電力化と長寿命化を可能にし、人々の生活をより便利で快適にするだけでなく、地球環境への負担も軽減します。



電子機器事業

時計事業から引き継いだ精密加工・組立技術を応用してつくられたPOS・バーコードプリンターと高精細デジタルフォトプリンターは、各種店舗や工場など、社会の様々な場面で活躍しています。また、電子血圧計や電子体温計を中心としたヘルスケア製品は、人々の健康管理をサポートし、健やかな暮らしづくりに貢献しています。



その他の事業

シチズングループならではの精密技術を生かしてつくられる高品質なジュエリーは、永く身に着けられ、日常を彩るものとして、多くの人々に愛されています。また、アイススケート場の運営等、市民の憩いの場づくりにも貢献しています。

企業概要 (2017年3月31日現在)

社名	シチズン時計株式会社	資本金	32,648百万円
創立	1930年5月28日(創業1918年)	従業員数	16,170名(5,109名)
本社所在地	〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12	※上記は連結の就業人員で、()内は外数での臨時雇用者です。	